

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援事後評価結果

大 学 名	昭和女子大学		
申請区分	タイプB：特色型	整理番号	B 2 3

◇経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">S	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
(コメント) <p style="margin-top: 20px;">大学のグローバル化に向けた戦略と教育課程の国際通用性の向上については、シラバスの一部多言語化、ナンバリングの導入が完了しており、教職員のグローバル人材確保も順調に行われるなど、本事業で計画された取組は確実に実施されている。また、様々な海外プログラムへの参加学生数が大幅に増加するとともに、8大学から18大学まで拡充しようとしていた海外協定校数を29まで増やすなど、グローバル化の推進、教育課程の国際通用性の向上、国内外への教育情報の発信等を着実に進めており、成果を挙げていると言える。</p> <p>日本人学生の留学を促進するための環境整備については、入学前のオープンキャンパスの段階から留学を意識させる取組や、入学時のオリエンテーションや初年度の授業において留学を具体的かつ身近に感じさせる工夫、留学前準備教育の体制整備等の取組を着実に実施してきている。留学中の生活面や学習面でのサポート体制の構築や、危機管理体制を含めた十分な環境整備が行われている。</p> <p>語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組については、入試において英語の4技能及びコミュニケーション力の習熟度を重視するとともに、英語以外の語学についても、外部試験のスコアでの出願を認めている。また、全学的なプレイスメント・テストの実施、レベル別クラス編成、語学力向上度の測定、e-learningの全学的導入等に取り組み、英語能力の強化に成果を挙げている。各取組の効果を確認して次の施策に繋げるとともに、学生に対しては丁寧な指導を行っている点は評価出来る。</p> <p>目標の達成状況については、各年度における卒業時の外国語カスタンダードを満たした学生数が数値目標を大きく上回っているとともに、系統的かつ具体的な施策の実現を通じて、多くの項目で数値目標を達成している。海外キャンパスである昭和ボストンを有効に活用して、特色ある教育を実施している点も高く評価出来る。</p> <p>今後の展開及び高等教育の国際化に対する貢献については、これまでの取組の成果を踏まえ、課題となっている事柄を整理し、継続的に取り組む仕組みや方向性を明確にし、次の展開においても充実したプログラムが計画されている。また、資金計画についても、取組継続のための配慮がなされていることから、今後に期待したい。</p>	